

平成 25 年度 事業報告

(1) 創造工学センター運営委員会

表 1 運営委員会

年 月 日	回 数	内 容
平成 25 年 4 月 11 日 10 時 30 分	第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度の事業報告 ・事業内容の点検と平成 25 年度の事業計画 ・役割分担 (案)
平成 25 年 6 月 19 日 13 時 00 分	第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度「創造工学特別実習」のテーマと受講生 ・平成 25 年度「創造工学特別講義」の受講生 ・平成 25 年度「製品開発体験実習」のテーマと受講生 ・創造力育成プロジェクト (学生フォーミュラ, 大学ロボコン) の進捗状況報告 ・平成 25 年度「製品開発体験実習」におけるオリエンテーションおよび作業部会の開催 ・平成 25 年度「製品開発体験実習」におけるものづくり基礎力講義の開催 ・平成 25 年度「創造工学特別実習」における講義の開催 ・電動工具の操作説明会の開催について ・「企業技術者によるものづくり実践講義」の実施について ・物品の譲渡について
平成 25 年 8 月 28 日 13 時 00 分	第 3 回	<ul style="list-style-type: none"> ・創造力育成プロジェクト (学生フォーミュラ, 大学ロボット) の進捗状況報告 ・平成 25 年度「創造工学特別講義」の実施報告 ・平成 25 年度「製品開発セミナー」の報告 ・平成 25 年度「製品開発体験実習」のオリエンテーションおよび作業部会の報告 ・電動工具操作説明会の報告 ・平成 25 年度創造工学センター予算案 ・第 11 回「学生ものづくり・アイデア展 in 富山」の企画 ・「企業技術者によるものづくり実践講義」について
平成 25 年 10 月 23 日 13 時	第 4 回	<ul style="list-style-type: none"> ・「製品開発体験実習」におけるものづくり基礎力講義の実施報告 ・「創造工学特別実習」における講義の実施報告 ・第 11 回「学生ものづくり・アイデア展 in 富山」の企画 ・「企業技術者によるものづくり実践講義」について

		<ul style="list-style-type: none"> ・「製品開発体験実習」における成果発表会開催について ・平成 26 年度事業内容について
平成 26 年 1 月 22 日 13 時 00 分	第 5 回	<ul style="list-style-type: none"> ・「第 11 回学生ものづくり・アイデア展 in 富山」実施報告 ・3 大学技術職員連携会議の報告 ・企業技術者によるものづくり実践講義の実施報告 ・「製品開発体験実習」における成果発表会開催について ・中期目標・中期計画部局版について ・年報の作成と分担について ・テクノルネサンスについて
平成 26 年 3 月 19 日 13 時 00 分	第 6 回	<ul style="list-style-type: none"> ・「製品開発体験実習」における成果発表会の実施報告 ・平成 26 年度「創造工学特別実習」の実施について ・平成 26 年度「製品開発セミナー」の開催について ・平成 26 年度「製品開発体験実習」の実施について ・平成 26 年度「創造工学特別講義」の実施について ・第 12 回「学士ものづくり・アイデア展 in 長崎」について
		平成 25 年度創造工学センター年報（電子版）の発行

(2) 「創造工学特別実習 1, 2, 3」の実施

企業が製品開発をする場合には、いろいろの分野・年齢の人がチームを組んで仕事をしている。その際には協調性、問題解決能力や発表能力が重要視されるので、それを大学にいるうちに習得させる目的で、学科・学年横断型の創造工学特別実習 1, 2, 3 を平成 16 年度から実施している。平成 25 年度には 52 名が数人ずつに分かれて 14 テーマの実習に取り組み、その成果を富山大学で開催した第 11 回「学生ものづくり・アイデア展 in 富山」に出展した。

(3) 第 11 回学生ものづくり・アイデア展 in 富山の開催

平成 25 年 12 月 7 日（土）に富山大学工学部において、長崎大学・新潟大学・富山大学の 3 大学工学部共催の第 11 回「学生ものづくり・アイデア展 in 富山」を開催した。第一部の基調講演では、「YKK のものづくり」の題目で、YKK 株式会社執行役員の喜多和彦氏の講演があった。また第二部の「ものづくりアイデアコンテスト」では、長崎大学から 2 件、新潟大学から 6 件、富山大学から 20 件の出展があった。本学からの出展の内訳は、工学部の 1 年生から 3 年生が創造工学特別実習によるものづくり教育で取り組んできた 13 作品と、各学科で従来から実施されている「学科創成科目」で製作された作品 5 点、学生フォーミュラプロジェクトから出品された作品 1 点、大学ロボコンプロジェクトから出品された作品 1 点であった。上記計 28 点の概要説明、およびポスターセッションで作品

の展示説明があった。最後に優秀作品が5件表彰された。

(4) 企業技術者によるものづくり実践講義

ものづくり教育の一環として、平成17年度から企業技術者によるものづくり実践講義を開始した。この講義は、県内企業の担当者を講師として招き、企業における製品開発の経験に基づいたものづくりの講義・実践的指導を目的とする。講義は企業の製品開発の体験談・失敗談、企業技術者に求められる事柄など、学生がものづくりや工学の学習で参考となる事柄を講演いただくものである。本年度は6件の実践講義が開催された。

(5) 技術職員連携会議の開催

富山・新潟・長崎の3大学工学部は平成15-18年度の特徴GP事業「ものづくりを支える工学教育の拠点形成」、平成16-19年度科学研究費補助金(基盤B)「ものづくりを支える工学力教育のための大学間共通教育プログラムの開発」を通じて工学教育カリキュラムの改善に取り組んできた。これらの事業を更に継続・発展させるために、3大学工学部教員連携会議を開催してきたが、技術職員についても教育研究支援における連携を図るために、3大学技術職員連携会議を開催している。平成25年度は平成25年12月7日(土)に3大学工学部技術職員連携会議が開催され、各大学における地域貢献活動の報告などが行われた。

(6) 企業連携教育部門の活動

平成19年度から実施している文部科学省事業「産学連携による実践型人材育成事業」(富山大学のプログラム名:「製品開発体験実習による実践的ものづくり技術者育成」)は平成22年3月で終了したが、今年度も創造工学センターの企業連携教育部門の下に設けられた作業部会で以下の事業を継続実施した。

① 製品開発セミナー

「製品開発セミナー」について、平成25年8月2日(金)に「製品開発セミナー」を工学部106講義室(富山大学)で開講した。

② 製品開発体験実習

「製品開発体験実習」について、平成25年度は7件の実習テーマに対して、33名の受講生により実施した。

③ 製品開発体験実習における成果発表会

「製品開発体験実習における成果発表会」は、「製品開発体験実習」の成果発表、他実習テーマの相互理解、プレゼンテーション能力の向上を目的として、平成26年2月10日(月)に富山大学工学部大会議室で開催した。

(7) プロジェクト教育部門の活動報告

平成 22 年度より、新規にプロジェクト教育部門を設け、「学生フォーミュラプロジェクト」と「大学ロボコンプロジェクト」を立ち上げた。「学生フォーミュラプロジェクト」については、これまで各部品的设计・製作を行ってきたが、今年度は第 11 回全日本学生フォーミュラ大会に参加し、マシンを搬入できるようになった。また、「大学ロボコンプロジェクト」については、引き続き第二次ビデオ審査に向け製作を進める。

(9) 電動工具使用に関する講習会の開催

工具や機械装置類等による事故を未然に防ぎ、安全性を追求・改善することを目的として、創造工学特別実習受講を希望する学生や学生フォーミュラプロジェクトおよび大学ロボコンプロジェクトの学生を対象として、創造工房に設置してある電動工具の操作説明会を、平成 25 年 4 月から 7 月にかけて合計 6 回開催した。